

近藤 さえ子の 小枝通信

一本の小枝がつなぐお母さんの声
一本の小枝で結ぶ地域の世代
一本の小枝が渡す地域と区政

No.41 2023年1月発行

2023年新しい年が始まりました。

昨年10月、私は中野区自治功労賞を授与されました。これは議員活動20年目に与えられる賞です。子育てと母の介護の日々の中「同じ体験をしているお母さんたちの声を区政に届けたい」と2003年無所属で区議に立候補し初当選。その後、いつも私を後押ししてくれた主人を殺人事件で亡くし、それでも常に、普通の区民の声を行政に届けることに努めてきました。皆様の温かい支えなしには決して乗り切れなかった20年、心から感謝いたし御礼申し上げます。



犯罪被害者遺族になった私は、中野区に犯罪被害者等相談支援窓口、犯罪被害者等支援条例を制定するために尽力しました。中野区の犯罪被害者支援は有名になり、私も全国各地の警察や自治体等で講演してきました。自ら代表を務める被害者や支援者等で構成される勉強会で作った「被害者ノート」は全国で高く評価され、東京都や国土交通省も同様の「被害者ノート」を作成しました。

今後も、真面目に生きる人たちが報われる社会を目指し、微力ながらも取り組んで行く所存です。本年が皆様にとって良い年になりますようお願いいたします。



いま中野区は！

◆ 物価高騰等への支援策

区は、電気・ガス料金の高騰、物価高騰等への支援策として、区立保育園・区立小中学校等の区の施設・介護事業所・スポーツ施設などへ光熱費の増額、子育て世帯生活応援給付金の支給などの補正予算を組んで対応しています。

コロナ対応、土地区画整理事業等も含めて今年度は第7次の補正予算(2022年12月現在)を組んできました。第1次から第7次までの補正金額は140億3207万3千円です。その内、区の財源(一般財源)は42億72万9千円、他は国費・都費などの特定財源です。

◆ 地域の子ども施設の展開について

酒井区長は子どもたちの居場所について児童館を残す方向で考えてきましたが、昨年12月、今後の地域の子ども施設の展開が報告されました。

- キッズ・プラザは全小学校に整備。**民間運営**
- 児童館は機能を強化して中学校区に1施設配置。**区直営**
(区内9施設 ・城山・みずの塔・南中野・宮の台・上高田・北原・野方・大和・かみさぎ)
- 乳幼児親子向け事業を強化した施設・学童需要を補完する施設
民間運営(区内5施設 ・朝日が丘・新井薬師・大和西・鷺宮・弥生)
- 学童クラブ施設は、需要数を満たすように整備を進める。
谷戸・塔山小学校区に民間学童を誘致。



- 外遊びができる施設(区内3施設
・文園・西中野・みなみ) **民間運営**
- 中高生館(区内2施設 ・若宮・産業振興センター跡施設) **民間運営**



<http://saekonikki.exblog.jp/>



日々の活動をお知らせしています。



10月28日 厚生委員会視察

厚生委員会の視察で訪れた総社市役所で、「障がい者千五百人雇用の取り組み」の説明を聞きました。総社市では「福祉から就労」を挙げ、障がい者にきめ細かい就労支援を行ってきました。18～60歳の障がい者の雇用は2011年には180人でしたが、2022年(9.1現在)は1,239人になりました。今後は1500人雇用を目指しています。



また、障がい者が作った岡山県産のデニム生地を使用した「総社マスク」(売上げ28万枚)、懐かしい学校給食のカレーをレトルト化した「そうじゃ小学校給食ライスカレー」(1つ売る度20円が応援金として各学校に贈呈され、羽田空港でも販売中)等、様々なアイデアで市を盛り上げる片岡市長の手法に感心しました。

12月10日 葬儀

同級生のお母様の葬儀に参列しました。彼女は、私の父の同級生の奥様でもあり、近藤家とは私が生まれる前からの付き合いで、私自身大変お世話になりました。

彼女は長く小学校のPTA会長を務められました。参列された元小学校の先生からこんなエピソードを聞きました。「新任教師に対し、いつでも相談にのってくださいました。彼女が作ってくれた袴を私は生涯すべての卒業式で着ました。学校と教師を支えてくれるお母様がいたから、私たち教師は無事に勤めあげることが出来ました」

今は「これをやってくれ、あれをやりたい」と行政機関に要求はしますが、自分で積極的に動かないように感じます。「子どもたちの環境を良くすることに自ら参加する」彼女の姿勢に豊かな子育てのヒントがあるように思います。

多くの人に感謝された見事な89年の人生でした。合掌。

私の議会報告

近藤さえ子は第3回および4回定例会で以下の質問をしました。



第3回定例会

一般質問(2022年9月14日)

1. 重層的支援について

8050問題(80代の親が50代の子どもを養う)を抱える家庭で、高齢の母親が入院した段階で介護保険のヘルパーさんも引き揚げ、ひきこもりの子どもは一人置き去りにされて亡くなってしまった。なぜ、支援の手は届かなかったのか。

それぞれケースは違っていても重層的な支援が必要な家庭に対し、関係機関が繋がり、すぐに支援に入れるような体制を作っておくべきと考える。

地域包括ケア推進担当部長 ひきこもりの当事者やその家族に対しては、地域の関係機関等と連携し、発見から速やかに支援につなげ見守る重層的な支援体制を整えていく。

2. デジタルデバイドの解消について

区は高齢者のスマートフォン・タブレット相談会や初心者講習会等を開催しているが、区民からは「消費者センター等に相談窓口を設置して欲しい」との要望もあり、もっと細かい地域単位で気軽に相談できる環境を作る必要を感じる。

高齢者の中でも格差があるデジタル機器への対応は、何処をゴールとして取り組んでいるのか。

区長 区役所本庁舎での定期開催や、地域での相談会開催などを検討していく。利便性の高いサービスを受けられるよう、モバイル機器への苦手意識や不安解消をゴールに取り組んでいる。

3. 保育園・介護のサービス事業者の事務の簡素化について

区は庁舎内のデジタル化・ペーパーレス化を進めているが、保育園や介護サービス事業所の方から「書類の多さに疲弊する」との訴えが出ている。区全体の事務の簡素化を進め、子どもや高齢者等と向き合う時間の確保に務めて頂きたい。

区長 申請書類の改善、提出書類の削減も行っている。

地域包括ケア推進担当部長 高齢者や家族の相談等に対応するため事業者の負担軽減に努める。

決算総括質疑(2022年9月27日)

1. 緑化の推進について

近藤 区立公園に新たな植栽を増やしていく計画はあるか。

公園課長 植栽地は公園面積の3/10以上で必要数は満たされている。新たな植栽計画はない。

近藤 高齢の方や遺族から、育てきれない植栽を公園に植えられないか等相談を受ける。自主管理花壇でそれらを引き取り、植栽の種類も団体の意思を尊重する公園造りができないか。

公園課長 自主管理花壇は一定ルールを守りながら、団体ごとの意思に基づき育てられていると認識する。



2. 家庭ごみの適正排出の推進について

近藤 毎年約3,000もの不適切な粗大ごみが捨てられていると聞くが、何がが多いのか。

清掃事務所長 一番多いのが布団で、令和3年度678個。

近藤 粗大ごみのルールを守らない人がいる。何か対策を取っているのか。

清掃事務所長 不法投棄された粗大ごみには警告シールを貼り、適切な排出の案内を行っている。

近藤 シールを貼っただけでは効果は感じられない。布団は粗大ごみでありルールを守ることを周知徹底していただきたい。

清掃事務所長 そのように周知を進めたい。

3. 子ども医療費助成について

近藤 来年度から高校生までも無償化予定の子ども医療費助成は都の全額補助だが、4年後、区の全額負担となれば財政を大きく圧迫する。スタート時が大切である。

子育て支援課長 適正な医療受診を周知する。



第4回定例会

一般質問(2022年11月29日)

1. 重層的支援体制について

(第3回定例会に引き続き) 高齢の母親と子どもの2人家庭で、ご近所からも見守られ、訪問介護も受けていた母親が入院してヘルパーさんが引き揚げ、一人残されたひきこもりの60代の子どもはどこにも助けを求められず亡くなってしまいう事例が発生した。この家庭の状況が、すこやか福祉センターや包括支援センターで共有されていれば、早期の支援が出来ていたのではないかと残念でならない。近隣住民も悲しい思いをしている。

先日厚生委員会で視察した岡山市では「つなぐシート」を導入、世帯全体の課題を把握し複合課題ケースについての検討が行われていた。中野区でも重層的支援が必要な家庭に対し、世帯の課題を整理し、相談を受けた機関が他とも連携を図るため共通の様式シートを作り情報共有を図るべきではないか。

区長 情報共有の方策については、個人情報も含めて調整を図って行きたい。

2. 消費生活行政の充実について

『消費者相談の現場から』には「困った時は消費生活センターまでお電話ください」とあるが、受付時間は9時30分から16時まで、土日祝日は休みで、消費生活センターは気軽に相談できる体制にはなっていない。

年代を問わず、悪質商法等の被害で悩む声は多いが、消費生活センターへの相談に結び付かない人も大勢いる。区は、悪質商法などの被害を防止するためにも、広く区民に注意喚起し、消費生活センターの活動等をPRすることに力を入れるべきと考える。

区長 今後も、適宜・適切に、注意喚起などの消費者行政に関する啓発活動を継続するとともに、消費生活センターの活動をPRしていく。

小枝ネット(ホームページ) <http://www.koeda-net.com/>

近藤 さえ子 プロフィール

中野区議会議員5期 北原小・十一中・吉祥女子高・和光大学卒 故近藤正二(区議11期)次女 趣味テニス

近藤 さえ子の小枝通信

発行:中野市民の会 編集:近藤さえ子事務所

TEL & FAX 03-3330-9584

E-mail saekokondo@mbh.nifty.com